

西濃桃李高等学校 通信教育実施計画

教科	地理歴史	科目	地理B	単位数	4 単位
対象学年	第 3 学年				
授業担当者					
使用教科書	地理B 東書	副教材	使用しない		
スクーリング	必要出席時間数	4 単位 × 1	= 4 時間以上	スクーリングとレポートを両方合格 することで履修が認められる。	
レポート	必要提出枚数	4 単位 × 3	= 12 枚		
期末試験	合格得点目標	20	点以上	考査範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件	

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。	現代世界の諸地域を、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。	地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養う。

【年間指導計画】 ※学習方法欄の○は週5週3、□は週1在宅・配当時間は週5生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート (×切期日)	評価の観点			配当 時間
		スクーリング	レポート	試験		知	思	主	
4	第1編 さまざまな地図と地理的 技能 第1章 地理情報の表現方法	○	○□		No. 1 4/30	○	○	○	10
5	第2編 現代世界の系統地理的 考察 第1章 自然環境	○	○□		No. 2, No. 3 5/31	○	○	○	10
6	第2章 産業と資源	○	○□		No. 4, No. 5 6/30	○	○	○	10
7	第3章 人口、都市・村落	○□	○□		No. 6 7/13	○	○	○	6
8									
9	前期期末試験 第3章 人口、都市・村落	○□	○□	○□	No. 7 9/29	○	○	○	6
10	第4章 生活文化、民族・宗教 第3編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域	○□	○□	○□	No. 8, No. 9 10/31	○	○	○	12
11	第2章 現代世界の諸地域	○□	○□		No. 10, 11 11/30	○	○	○	10
12	第3章 現代世界と日本	○□	○□		No. 12 12/14	○	○	○	4
1	後期期末試験(3年)		○□	○□		○	○	○	